

# オ研 御嵩町に模型飛行場

## キャリオ キ技 エアロ・パーク構想も

【可児】キャリオオ研(本社名古屋、御田茂社長)と可児郡御嵩町は十一日、地域振興と環境保全などの事業を協働で行う相互連携協定を締結した。同社が進める航空機事業で、模型のシミュレーション飛行を町内のグランド(約二万六千平方メートル)を使用する。

【可児】キャリオオ研(本社名古屋、御田茂社長)と可児郡御嵩町は十一日、地域振興と環境保全などの事業を協働で行う相互連携協定を締結した。同社が進める航空機事業で、模型のシミュレーション飛行を町内のグランド(約二万六千平方メートル)を使用する。

ラウンドを活用して行なう。将来的には「町内にラジコン飛行場や飛行船基地を含む総合エアロ・パークを開設したい」(同社)と構想している。

計を主力にしている。航空機ベンチャープロジェクトを立ち上げ、部品の設計開発をはじめ、人材育成にも取り組んでいくことにした。この新拠点として、各務原市テクノプラザのインキュベーション施設内に研究室を確保

キャリオオ研は三次元CAD設計による自動車部品などの開発



今回の協定により、開発部員が航空機の感

町(約二万六千平方メートル)を使用する。

御嵩町と連携協定を結んだ富田社長(左)……

今後は電池式の「空飛ぶ自動車」やEV自動車運行車両の開発をめざすほか、地元と共同でラジコン大会のイベントを行ない、地域活性化につなげていく考えだ。

同社は「同町にラジコン飛行場、災害時用飛行船基地などによる「エアロ・パーク」を実現したい」と話している。